

“うみ博 2022”横浜市大同窓会のチャレンジ・ストーリー

横浜市大同窓会が初めて、「海洋横浜うみ博 2022」横浜市大ブースのプラットフォーム「特設会場」イベントに挑戦しました。同窓会はSDGs活動を会の目的の一つにしています。今回のイベントは、数少ない実践活動の一つとなりました。関係の皆さまに、感謝の気持ちを込めてご報告させていただきます。



【言い出しっぺ】

これまでも大学と同窓会を繋いでいただいている K 部長の一言から始まりました。

「同窓会とコラボしたら？」

それを受けて、大関先生が進交会館に来られ、どういふコラボができるのか話し合いました。

(5/18)

おりしも、TEHs の「サスシーを学食に！」が達成され、メディアに取り上げられていた頃。

TEHs ともコラボして3者でやろうということに。

「同窓生たちが、子どもや孫たちを連れて進交会館に集合する！」そして、皆さんにサスシーちくわを食べていただく！

数日後、TEHs も展示参加を決定！

【うみ博プロジェクトチーム】

いよいよ同窓会に、うみ博プロジェクトチームができました！同窓会総会(5/28)の場で丸山副会長（進交会理事兼務）にご相談。進交会事務局とも相談し、GO！

（同窓会以外の方にもお送りするため、あえて、お名前の後に役職名を入れさせていただきます。進交会役員で横浜市大同窓会執行委員でもある方は多いです。）

【第1回目の打ち合わせ(7/6)以降】

大人にはサッポロ生ビールとサスシーちくわ、子どもにはお菓子のゲーム、ならばそこでSDGsが学べるゲームにしよう！「SDGsすごろく」と「SDGsかるた」を購入。

新倉監事（進行会代議員兼務）が「市役所ブースでチラシをまいて、同窓生だけでなく誰でも来れるようにしましょう！同窓会のプレゼンスを上げましょう！」「おおぎさんでメニュー100円引きをお願いしましょう！」など新しいアイデアをどんどん提案。

当日会計は抜群に正確な山田常任幹事（進行会理事兼務）の担当で即決！

【第2回目打ち合わせ(7/20)以降】

実際にSDGsゲームをやってみたりしてまずは大人が遊んでみましたが、子どもがSDGsクイズつきのババ抜きやすごろくだけで楽しめるだろうか？と不安。。。そこに、坂本幹事（進行会代議員兼務）が“コロコロレーシングサーキット”なる遊びを持参！皆、ドはまり！腹の底からの笑顔で「これ、いいですね〜！」「うん、これならいける！」「麵処おおぎ」で乾杯！



この間の丸山さんの行動は素早く、竹輪をあちこちの店で購入、試食。ニッスイの「サスシーちくわ」が美味しくて安い！を確認。手には試食した竹輪の包装がいくつも握られて！一方で、「横濱屋」（故山本社長は進交会常務理事）さんにはサッポロ生ビールを、「アイスコ」（相原社長は進交会常務理事）さんにはサスシー竹輪やお菓子ほかの備品を出向いて注文。相原社長さんが「それはいいね！」とニッスイの「サスシーちくわ」をお値引き価格でご提供いただきました！さすが、元サッポロビール本部長！「イベントはこうして楽しむもの！」とおっしゃいませませんが、教えられました！

もう一人、いつも楽しんでいるのが坂本さん。チラシのデザインが送信されてきました！さすがプロフェッショナルなデザイン！と思ったら「社員のあいつにやらせた」と笑。また、坂本さんはSDGs うちわ（お絵かきうちわ）がたくさんあるので、指を入れる穴になるところをクーポンにして、それを持参すれば麺処おおぎで割引で食べられるようにしようと提案。そうすれば、2階に来てサスシーちくわを食べたり、遊んだりしないと割引うどんが食べられないことになるからと。みんなの経験が生きてるなあと感心。ところで、このSDGs うちわがお絵かきコーナーをつくり出し、思わぬ効果が！



←竹輪の絵の下に親子孫3代？の顔
「サステナブル・シーフードを選ぼう」



↑SDGs 目標 15「陸の豊かさも守ろう」をイメージして描いた。
左側が自然での暮らし、右側が都会での暮らしだそう。

さて、金子会長（進行会副理事長兼務）が「麺処おおぎ」との本格的交渉に（7月下旬）。すると風間社長がノリノリで～！「開店以降、何か楽しいことをやりたかったが、コロナで何もできなくなっていた」「これは楽しそうですね！」と。最終的に「サスシーちくわうどん、鴨せいろ、肉せいろを当日のみ各 500 円で」ご用意いただくことに決定！

【実際にトラブル発生！】

チラシが刷り上がって会館に到着間際、TEHs からの連絡。チラシに使っていた写真に MSC 認証と ASC 認証の「海のエコラベル」が使われていると MSC から指摘を受けたとのこと。緊急に深夜のメールとライングループ電話で話し合い、出来上がったチラシのエコラベルはマジックで消し、既に facebook や HP にアップしていたチラシは他のものと入れ替え作業！

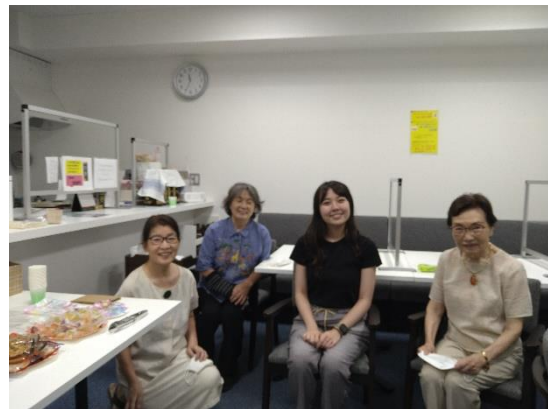
TEHs のポスター「今日、サスシーにしない？」も印刷ができて準備完了！

市役所ブースでチラシ配布をお願いしていた伊藤さん。元気なお声で「大丈夫行けます！」

とのこと、一安心。他にも小野塚常任幹事（進交会理事兼務）や福士幹事（進行会代議員兼務）も当日駆けつけてくださいました！

【8月6日、いよいよ本番です！】







後列左：丸山、大宮 前列左から：山田、新倉、伊藤、金子、西尾、坂本（敬称略）

【あとがき】

「無理しないで、ゆる〜く」の合言葉でスタートしました。「お休み処」として進交会館を開放しましょう！から、サスシーちくわを食べてもらいたい！生ビールを飲んでもらいたい！子どもには退屈しないでもらいたい！いくつもの「もらいたい」が増えていって、このような、楽しんでいただける、自分たちも楽しめる、麵処おおぎさんまで巻き込んで、みんなで楽しめるイベントになったと思います。

ある意味、言い出しっぺはK部長だったかもしれませんが、事務局でもあります。事務局は「これ、やりたい！」と言い出しただけでしたが、皆さんお一人おひとりの積極的なご協力で大変価値のあるイベントとなりました。丸山さんが動かれることで、Y校同窓会（Y校会）からのご協力をいただきました。普段一緒に何かすること（できること）は少ないですが、良い連携プレーができました。また、日頃からの協力団体 Sera Creations さんの環境問題に挑戦する素晴らしい動画も、たくさんの方に見ていただくことができました。神奈川県ユニセフ協会さんも来訪され、その他の関係機関の方にも来ていただきました。

このオープンなイベントには、みなと倶楽部スタッフの皆さんも揃って「楽しいね！」と。

麵処おおぎのスタッフの皆さんにも「楽しみです！」と喜んでいただきました。おおぎさんには、冷蔵庫やのぼりを立てる台も貸していただき本当に助かりました。コロナ感染の第7派で沈んでいた空気が準備期間を入れると数日間、ふわ〜っと軽くなった「海洋横浜うみ博2022」横浜市大ブース・プラットフォーム「特設会場」でした。

TEHs「今日、サスシーにしない？」のポスターは、2年生の制作で、是非成功させたい展示参加でした。後輩にバトンを渡す一つの良い機会となりました。また、同窓会配布のチラシ内の海のエコラベル削除の問題は、双方にとって大変良い学習経験となりました。

ある日、大学の正門付近で大関先生と話しました。「セミナー参加者が少ないんです」と言うと、大関先生は「自分たちが楽しめることをやればいいよ」とおっしゃいました。このうみ博「特設会場」お休み処イベントは、まさに主催者自身が大変楽しめる企画・運営となりました。大学の皆さま、大関先生、TEHsのみなさん、そして同窓会の100%ボランティアでご協力くださった皆さま、改めて、心よりお礼を申し上げます。桑原副会長（進交会常任理事、市大同窓会副会長、進交会報・HP委員長）には長時間滞在し、ゲスト対応にもあたっていただきました。誠にありがとうございましたm__m

今後とも、またさらに、横浜市大同窓会へのご支援とご協力をお願い申し上げます。

2022.8.7

横浜市大同窓会
事務局 西尾留美子